



真岡市議会議員

お世話になります！



中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.32
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

この度の東日本大震災により被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。



皆様の温かいご支援により…

市議選で3期目の当選

1880票
(第3位)



4月24日(日)に投開票が行われた真岡市議会議員選挙において、中村は1,880票を獲得し、第3位で当選を果たしました。

今回の選挙戦に先立ち、中村は5つの柱と21の具体的施策を『中村的マニフェスト』として掲げました。そうした訴えが、多くの方々にご支持いただけたことは大変ありがたく感じております。

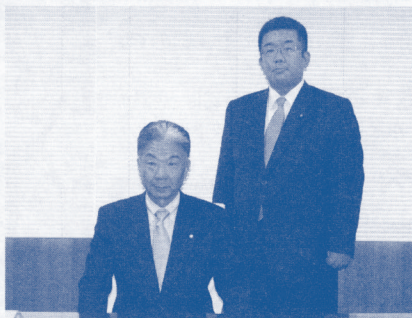
震災後の復旧・復興も急がれる今、1票1票に込められた皆様の想いをしっかりと受け止め、3期目の議員活動に全力で挑んでいきたいと考えております。

市民と市政のかけ橋になりたい！
☆お気軽にお声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

第58代 副議長に選出されました

5月12日(木)に開催された臨時議会において、議会の主だった役職が決定。中村は副議長に選出されました。

昨今、真岡市も含め、全国各地の地方議会は、その存在意義が大きく揺らいでおります。そうした中、議会が市民の皆様から信頼を得ていくためには、『開かれた議会づくり』が何よりも重要です。そのための議会制度改革の研究と実践に取り組んでまいります。



大根田幹夫議長とともに

議会傍聴にお越しください

市議会本会議はだれでも自由に傍聴できます

■市議会には定期的に行われる「定例議会」(6月、9月、12月、2月)と、必要に応じて開かれる「臨時議会」があり、議案や陳情などが審議されます。

■事前予約は不要ですが、団体等大勢での傍聴は事前に議会事務局にご連絡をお願いします。

お問い合わせは
議会事務局 TEL 83-8176 まで

市議会は市政運営や議会活動の様子などを知ることのできる絶好の機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

改選前の活動報告

2期目の締めくくり!! 2月定例議会・一般質問



2月定例議会の質疑・一般質問が、3月2日(水)、3日(木)の2日間にわたって行われました。

中村は3月2日の4人目として登壇し、計5件の課題について一般質問を行い、2期目の締めくくりとなる論戦を展開しました。

(中面に関連記事)

中村が行った一般質問の内容

- 平成23年度の重点・新規事業について
 - 総合運動公園整備事業について
 - デマンドタクシー実証運行事業について
- 福祉分野の諸課題について
 - 高齢者の相談機関の充実化について
 - 待機児童対策について
- 地域経済の活性化について
 - 市内にある観光資源の活用について
 - 工業団地立地企業との意見交換について
 - 起業家支援について
- 産業廃棄物処理施設の建設計画について
 - 現状と県・市の対応について
- 教育政策について
 - 教育研究センターの設置について
 - 学区再編について

「見逃した!」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜31号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

7月17日(日)

次回の「中村かずひこ通信」は発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひこ議会レポート

2月定例議会 一般質問

答弁者：井田 隆一 市長
 内田 龍雄 副市長
 酒井 勲 教育長
 矢板橋文夫 総務部長
 中村 勝博 健康福祉部長
 飯島 真一 産業環境部長

1. 平成23年度の重点・新規事業 について



質問 平成23年度から『総合運動公園整備事業』がスタートする。
 ①単に市の財源を使うだけでなく、**国・県などの交付金・補助金**の活用、さらに民間資本を用いる**PFIなども検討すべき**と思うが。
 ②総合運動公園が整備された後の**管理・運営は、どのような団体が担うのか。**

答弁 ①各種の**補助金・交付金**については、採択されるための条件があり**導入が難しい**が、最適な補助事業を**鋭意調査している**ところである。また、公園事業は補助金のほか**地方債が活用できる割合が高く、初期投資負担が相対的に軽減される**。そのため、**PFIを導入する効果は薄いもの**と考えている。
 ②当面の間、総合運動公園の**管理・運営は行政による直営方式**で進めていきたい。

質問 高齢者など交通弱者の足を確保するため、平成23年度から『デマンドタクシー実証運行事業』がスタートする。安い金額で目的地まで移動できることは歓迎すべきだが、
 ①**福島県南相馬市など、既にこの事業を行っている地域では、既存のタクシー事業者との利害調整が課題**となっている。真岡市ではどのように考えているのか。
 ②高齢者が事業対象の中心と考えれば『デマンドタクシー』という**横文字は馴染みにくい**と思われる。もっと**親しみやすい愛称**を考えるべきではないのか。

答弁 今年10月を目途に**周辺地域と中心市街地**の間を運行する予定である。
 ①真岡市で予定しているデマンドタクシーは、運行は**平日のみで午前9時から午後5時まで**。標準的な時刻表を定め、相乗りを基本とする。**従来のタクシーとは異なる新しい公共交通**として位置づけられており、既存の事業者との**すみ分けは十分可能**と考えている。
 ②平成23年度前半に、**広報紙やホームページ**などを通じて**市民に愛称を募集したい**と考えている。

2. 福祉分野の諸課題 について



質問 真岡市の**高齢化率**は、今年1月末の時点で**19.4%**という状況にある。市内にある**特別養護老人ホーム**では、**入所できない高齢者が約200人**いると聞く。今後高齢者が、介護を必要とせず安心して生活できる仕組みづくりは急務である。高齢者が気軽に集まって**趣味などに打ち込む**とともに、**専門家を配置して各種相談もできる場を**、各中学校区に1つ程度、**空き店舗や学校の空き教室を活用して整備**することはできないものか。

答弁 真岡市では、自然観察センターや老人憩いの家などを利用した**高齢者の生きがいづくり、地域包括支援センター**が行っている**相談業務や訪問事業**などを行ってきた。さらに、高齢者が安心して住みなれた地域で生活できるよう、**平成23年度からふれあい地域づくり事業のメニューに『高齢者等見守りネットワーク事業』**を新しく加えた。このようなことから、**サロンのような活動と生活相談できる場の整備は考えていない**。

質問 真岡市では平成21年度に、第5の民間保育所である**真岡あおぞら保育園**が開設された。しかし一方で、23年度末に**荒町保育所が廃止予定**である。
 ①現時点で**66名の子供達が保育所の入所待ち**という状況であるが、**待機児童の問題解消**に向けて、どのような取り組みをしているのか。
 ②保育所を補完する役割が期待される『**保育ママ**』について、**担い手が減少の一途**をたどっているが、**人材確保や待遇改善**についてどのように考えているのか。

答弁 ①真岡市では**今後も保育需要が増加**する見込みであることから、**既存施設の定員増**を働きかけているほか、**認定外保育施設の充実**を図っていきたくと考えている。
 ②平成22年度に**保育ママ連絡協議会**の事業として、**各種研修会**に参加している。市としては、このような活動に**運営補助**を行っている。

3. 地域経済の活性化 について



質問 真岡市内にある**観光資源**については、もっと積極的に活用する方法を考えてもよいのではないか。
 ①**二宮尊徳翁**を題材として、**NHKの大河ドラマを誘致する活動**を行ってはどうか。新潟県南魚沼市では、**直江兼続が題材**(大河ドラマ『天地人』)となるよう、**熱心な誘致活動**をしていたと聞くが。
 ②真岡鐵道の**SL**を撮影する**写真愛好家を巻き込んだイベント**を企画し、市内に長時間滞在させる取り組みをしてはどうか。また、**駅構内の短い区間で、SLを体験運転**することはできないものか。他の地域で走るSLとの差別化が図れると思うが。

答弁 ①尊徳翁ゆかりの自治体で組織する『**全国報徳研究会市町村協議会**』では、**平成19年と21年に大河ドラマ誘致のためNHKに要望書**を提出したが、**ドラマ性、時代性の観点から大河ドラマ化は難しい**との回答があった。今後も引き続き、**関係自治体と連携しながらNHKに要望**をしていく。
 ②昨年からは真岡駅で『**SLフェスタ**』を開催している。今年も計画しているが、**写真愛好家を巻き込んだイベントの開催を関係機関と協議**していきたい。また、SLを**体験運転**させるためには、**専用の機関車を用意**する必要があり、**実施は困難**と考えている。なお、**井頭公園から真岡駅に移設**する予定のSLについては、**運転席に入って直接触れる**ことができるようにしていく考えである。

質問 世界同時不況や人口減少時代の到来により、真岡市内でも**工業団地内の企業撤退**が見られるようになった。そうした中、**立地企業との情報交換**を一層密にしていくことは必要不可欠と思われる。この2年間、各企業とはどのような形で**情報交換**を行ってきたのか。また、**寄せられた意見・要望はどのようなものか。**

答弁 真岡市では、**工業団地立地企業から意見・要望**を聞き、**市政に反映**させるため『**市長と工業団地立地企業との懇談会**』を実施しており、平成22年度は2月14日に開催した。各企業からは、**リーマンショック以降の状況、収益確保の課題、今後の見通し、雇用計画**などについて聞くことができた。

質問 **起業家への経営指導**などを専門に行う**インキュベーションマネージャー**の配置について、昨年6月の定例議会において『**商工会議所の職員に資格**を取得させるよう働きかけをしていきたい』と答弁していたが、**その後の進捗状況**はどうか。

答弁 商工会議所から、毎年6月頃に予定されている『**インキュベーションマネージャー養成研修**』(主催:財団法人日本立地センター)に、**職員を1名参加**させることとし、**予算を計上**するという報告があった。

4. 産業廃棄物処理施設の建設計画 について



質問 県に事業計画書が提出されている**感染性医療廃棄物中間処理施設**(松山町)、**産業廃棄物最終処分場**(南高岡)については、これまで地域住民の**反対運動**が展開されてきた。
 ①**現時点での状況**はどのようになっているのか。
 ②今後も**産業廃棄物関連施設の建設**が計画されることは十分に考えられる。新規事業者に対して真岡市独自の**法定外税**を設けてはどうか

答弁 ①松山町の**感染性医療廃棄物中間処理施設**は、平成20年11月から県において『**廃棄物処理施設専門委員会**』が3回開催され、**今年2月に終了**している。今後は県の最終審査を経て**設置許可**という流れになる。南高岡の**産業廃棄物最終処分場**は、これまで事業者が**事業計画書**を(期限切れのたびに)**4回提出**している。今後も県と連携を図りながら適切に対応していきたい。
 ②平成22年4月現在、**法定外税は44都道府県と12市町村で実施**している。このうち**産業廃棄物関連のもの**を見ると、**中間処理施設だけを対象**にしたものはない。したがって、**税の公平性が確保されるか疑問**がある。

5. 教育政策 について



質問 県内各市を見ると、**教育研究センター**を設置し、**独自の教育方針**を打ち立てている所が多い。
新学習指導要領に移行される中で、**真岡市としてもセンターを設置し、現役の教員を指導主事として配置する**などして、**各種の教育課題に対応することが必要ではないか。**

答弁 教員の研修・訪問指導や教科書選定などは、**広域的に行った方が効率的**であるという考えから、芳賀地区広域行政事務組合教育委員会が担当している。
したがって、教育研究センターの設置は考えていない。

質問 少子化の流れの中で、真岡市内にある大半の学校では児童・生徒数が減少傾向にある。そうした中、真岡市では平成22年度から『**小中学校適正規模に関する検討委員会**』を組織し、学校規模や適正配置について議論が進められている。
現時点において、検討委員会では**どのような意見が出されているのか。**

答弁 真岡市内の小中学校で、国が示す**適正規模の基準に合致しているのは、18校中3校**(真岡小、真岡東小、久下田小)だけである。
こうしたことから、平成22年8月に自治会や保護者、学校関係者など**17名で検討委員会を組織**した。委員からは、小中学校の統廃合について**推進・慎重双方の意見**が出ている。検討委員会には、**平成23年度の早い時期に方向性**を示してもらい、それをもとに教育委員会の見解をまとめていきたい。

再質問



総合運動公園整備事業について

質問 **補助金・交付金**などは今後の検討材料にしたいとのことだが、本来であれば**事業がスタートする前の段階で、活用できる・できないといったことが取捨選択されていなければいけない**と思うが。

答弁 これまでも様々な角度から検討してきたが、**補助を受けるのは難しい**というのが現時点での認識である。今後、何とか活用できる方法を探し出せるよう**関係機関と協議**していきたい。

質問 仮に、事業開始から2年目の**平成24年度から補助金・交付金**を受けられるようになった場合、**初年度にさかのぼって申請**することは可能なのか。

答弁 通常の場合、**それは不可能**と考えている。

デマンドタクシー実証運行事業について

質問 福島県南相馬市では、**タクシー1台の借り上げ料が1時間2,200円**とのことだった。
真岡市では借り上げ料を**いくらと想定**しているのか。

答弁 **1日9時間**の借り上げで、**3万円と想定**している。

質問 南相馬市の場合、タクシー事業者と**借り上げ料**がまとまるまでに**相当の時間**を要したと聞く。
タクシー事業者との話し合いはこれから行うとのことだが、**協議が難航した場合は**どのような対応をするのか。

答弁 真岡市の**高齢化率も、平成31年には21.3%**に達すると予測されている。高齢者の**足の確保は極めて重要な課題**と考えている。
そうした観点から、タクシー事業者にも理解と協力が得られるよう話し合いをしていきたい。

高齢者の活動・相談の場について

質問 **地域包括支援センター**が機能しているから、高齢者の活動・相談の場を整備する必要はないとのことだった。しかし、同センターの**スタッフは10名程度**であり、現状で高齢者に**対応しきれているのか疑問**が残る。
高齢者に会う頻度や人数、効果などについて具体的に説明してほしい。

答弁 平成22年度は現在までに、**212件の電話相談**を受けている。
そのほかに、1,120名いる**独り暮らしの高齢者のうち889名について訪問事業**を行っている。

質問 **電話相談を受けてから対応**するような受け身的なもので**問題解決が図れるとは思えない**。現時点でも『**待機高齢者**』が約200名おり、今後も高齢化率が高まることを考えれば、**高齢者が元気な時からコミュニケーション**をとることを、**もっと真剣に考えても良いのでは**ないか。

答弁 地域包括支援センターでは、電話相談とは別に**訪問事業**を行っている。これは電話を受けてから行うようなものではなく、**スタッフが高齢者の状況を把握して自ら出かけていく**ものである。

産業廃棄物関連の法定外税について

質問 今回提案している法定外税は、**市内で産業廃棄物関連施設を建設する事業者に課税**しようというもので、中間処理施設に限ったものではない。
税の公平性が損なわれるとは思えないか。

答弁 全国的に見て、**産業廃棄物に関する法定外税**の多くは、廃棄物に課税するものであり、**施設に課税するものではない**。
また、施設建設の抑止効果が期待される一方で、事業者によっては「**税を納めれば建設できる**」という考えを持たれかねない懸念がある。

教育研究センターについて

質問 **教育研究センター**の機能を**広域行政**に委ねているのは、県内14市の中で**真岡市だけ**である。市単独で行っている他市の状況について、**どのような見解**なのか。

答弁 広域行政で行っても、市単独で行っても**大きな違いはないもの**と考えている。

質問 もう1つ考えるべき点は、広域的な教育研究機関として『**芳賀広域行政事務組合教育委員会**』と県の出先機関である『**芳賀教育事務所**』の2つがあるということだ。**二重行政のような形**をとるのではなく、広域的な課題は『**芳賀教育事務所**』に委ね、『**芳賀広域行政事務組合教育委員会**』の方は、各市町の教育課題に対応できるよう分散させ、**役割分担**をしても良いのでは

答弁 『**芳賀広域行政事務組合教育委員会**』と『**芳賀教育事務所**』では、**役割が全く異なる**ことはご理解いただきたい。
また、真岡市はともかく**周辺の町で少人数の指導主事を配置しても非効率**で、諸々の課題に対応できないと思われる。

小学校の統廃合について

質問 ここ数年来、**真岡市の事業**では地域住民との**コミュニケーション不足**が原因で、**必要以上に軋轢**を生んだ事例がいくつか見られた。
小学校の統廃合は極めてデリケートな課題である。**当該地域の住民と十分なコミュニケーション**をとっていただきたいと思うが。

答弁 地域で100年以上の歴史を育んだ学校を**統廃合**するというのは、**とても辛い仕事**だと思っている。しかし一方で、現状を放置してもいいのかという思いもある。
検討委員会では現在、**地域住民の思いと教育環境の充実**という**2つの問題を視野**に入れながら**方向性を模索**しているところである。



11 市議選活動費

1.収入

項目	金額	備考
金銭寄付	328,000円	14件
物品寄付	85,500円	28件

合計 413,500円

2.支出

項目	金額	備考
家屋費	29,900円	選挙事務所家賃、電話架設料
通信費	3,317円	電話料
印刷・広告費	384,562円	選挙用ポスター、たすき、看板製作
文具費	30,000円	トナー、画びょう等
食料費	71,247円	弁当代
電気・水道	1,009円	
雑費	1,900円	灯油

合計 521,935円

※返却された供託金、公費負担となった分のポスター代等は支出に含まれておりません。

※『会員拡大用リーフレット』等、政治団体の活動に見なされる支出については、今回計上されておりません。(政治団体の活動費については、次号で報告します)



コラム むーあっび

3月11日に東日本大震災が発生し、真岡市も震度6強という大きな被害を受け、今もその爪痕を市内の至る所に残している。ブルーシートが掛けられた屋根、倒壊した塀、液状化した道路やグラウンド等々…。普段見慣れた風景が一瞬にして壊されるということは、恐ろしさ以上に悔しさがこみ上げてくるものだと教えられた。

それ以降、市民の方々からお話を聞いてきたが、その中で強く印象に残ったのは、ある友人の母親に言われた何気ない一言である。「中村君…。私達が生きてる間に、真岡市は元の姿に戻るかしらねえ」普段は元気な人が落ち込んだ表情で問いかけてきたので、返す言葉に窮してしまった。

『復旧』と『復興』という言葉がある。『復旧』は、壊れたり傷んだりしたものを元の状態にすることを意味する。しかし『復興』は、元の状態に戻すだけでなく、プラスαの価値を創り出すまでを意味するのではないかと私は考えている。

もとの生活環境に戻るための『復旧』は取り急ぎ進めていかなければならないが、私達が視野に置くべきは『復興』だ。震災前の真岡市に課題がなかったわけではない。福祉、教育、環境等の諸問題。市内経済の低迷、企業の撤退、県内では最も高い失業率等々…。その部分にまで切

震災前より
もっといい真岡市をつくるために

『復旧』と『復興』



り込んで克服をしてこそ、震災の『復興』は完成する。私達の先輩方は60年以上前、無理だと思えた状況から戦後の『復興』を遂げてきた。過去の人達にできて、今を生きる私達に震災後の『復興』ができないはずはない。

今回、市民の方々にお話を聞いてきた中では、震災後の行政の対応についても大変厳しい言葉が数多く寄せられた。今回の震災では『行政は万能ではない』ということに改めて考えさせられた。裏を返せば今日の状況は、議会が底力を発揮すべき時とも言える。

現在、真岡市において行われている復旧・復興の取り組みにも陰になってしまう部分がある。そこに光を当てるのが我々議会人の務めだと思う。震災発生以降、最も幅広く市民とコミュニケーションをとってきたのは、選挙戦を通じて市内を歩いてきた28名の議員であるはずだ。

さて、前に述べた友人の母親の話に戻る。あの時言葉に窮してしまっただけは我ながら恥ずかしいが、この紙面を通じて『元の姿』どころか、震災前よりもっといい真岡市をつくって、おばちゃんに見せてやるよ!』そう返答したい。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕

真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこと活動目誌

1月	2月	2月
6日 賀詞交歓会 真岡青年会議所総務委員会	1日 『ひばりの会』 定例会 真岡青年会議所総務委員会	24日 議員協議会 2月定例議会開会
8日 真岡市消防団出初式	4日 真岡中学校立志式	28日 あいさつボランティア
9日 成人式	6日 『伊夜日子会』 奉仕作業	
10日 百人一首かるた大会	7日 あいさつボランティア	
12日 真岡青年会議所総会	8日 議員協議会	
14日 とちぎローカルネットワーク【野嵐会】	9日 『ひばりの会』 音訳作業	
16日 大谷地区冬まつり	13日 『伊夜日子会』 奉仕作業	
17日 あいさつボランティア	14日 あいさつボランティア	
18日 『ひばりの会』 定例会	ライプリー教室作品展	
22日 『大谷広報』 編集会議	15日 『ひばりの会』 定例会	
23日 『伊夜日子会』 奉仕作業	16日 1・2期議員自主勉強会	
24日 あいさつボランティア	17日 議会運営委員会	
25日 市議会だより編集委員会	19日 市民活動推進センター・ボランティア講座	
生涯学習推進市民会議	21日 一般質問の通告書を提出	
27日 交通安全市民大会	男女共同参画社会づくり市民会議	
30日 真岡自然観察会役員会	22日 質疑・一般質問調整会議	
31日 あいさつボランティア	市役所担当課と接見	
	24日 議会運営委員会	
		3月
		2日 質疑・一般質問1日目 ※この日、4人目として登壇
		3日 質疑・一般質問2日目
		7日 文教常任委員会
		9日 真岡中学校卒業式
		11日 予算審査特別委員会通告書を提出
		15日 議会運営委員会 予算審査特別委員会
		17日 議員協議会 2月定例議会閉会
		18日 中村南小学校卒業式
		24日 震災関係ボランティアに参加
		25日 震災関係ボランティアに参加 真岡地区遺族会役員会
		29日 明治大学校友会栃木県支部役員会